

第7回 グリーン・スチール・セミナー 開催のご案内

社会資本の整備・ライフサイクルについての最近の取り組み

～鋼材の優れた環境性能について～

1. 開催目的： 日本鉄鋼連盟では、地球温暖化防止、循環型社会の構築、自然との調和などに貢献する鋼構造の優れた環境性能をご理解いただくため、建設に携わる方々を広く対象に毎年、「グリーン・スチール・セミナー」を開催しております。

第7回を迎えます今回は、「社会資本の整備・ライフサイクルについての最近の取り組み～鋼材の優れた環境性能について～」と題しまして、製品 LCA と素材 LCA の考え方や、建築における環境影響評価、また、worldsteel（世界鉄鋼協会）の LCA 方法論の国際規格化への取り組み等について紹介するとともに、宇宙開発利用の動向に関する JAXA の特別講演を予定しております。

ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2. 日 時：平成29年12月8日(金) 13:00～17:15

3. 会 場：フクラシア東京ステーション 5階 5H会議室（定員150名）[定員になり次第、締め切らせていただきます]
住所：東京都千代田区大手町2-6-1 ⇒ <https://www.fukuracia-tokyo.jp/access/>

4. 受講対象：ゼネコン、設計会社、施主、商社などの鉄鋼ユーザー、鉄鋼メーカー、研究者など

※ [建築士会CPD認定プログラム](#)
(プログラムID: 00216045、4単位)



、 [土木学会認定CPDプログラム](#)
(認定番号: JSCE17-1031、4.0単位)



5. 受講料：無 料

6. 申込方法：鉄連HP(<http://www.jisf.or.jp/>) から、

・Topics > 第7回グリーン・スチール・セミナー

または、

・各種ご案内 > 催し物のご案内 > 第7回グリーン・スチール・セミナー

からお申込みください。(<http://www.jisf.or.jp/info/event/gss/7-201712.html>)

※参加申込受付時に返信いたします確認メールをプリントアウトの上、当日会場にお持ちください。

7. 申込締切：平成29年12月1日(金) 必着（定員になり次第、締め切らせていただきます）

8. 問合せ先：一般社団法人日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ

TEL: (03) 3669-4815 FAX: (03) 3669-0229 E-mail: gss@jisf.or.jp

以上

第7回 グリーン・スチール・セミナー
社会資本の整備・ライフサイクルについての最近の取り組み
～鋼材の優れた環境性能について～

日時：平成 29 年 12 月 8 日(金) 13:00～17:15

会場：フクラシア東京ステーション 5 階 5H 会議室

敬称略

13:00～13:05	開会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 幹事 河野 謙治
13:05～13:50	－基調講演－ 製品 LCA と素材 LCA とは 東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 特任准教授 醍醐 市朗 ライフサイクルアセスメント（LCA）は、従来、最終製品のライフサイクルでの環境負荷を評価するためのツールとして発展してきた。一方で、素材はリサイクルされることも多く、素材のライフサイクルは、複数の製品にまたがる。特に、リサイクル性に優れた鉄鋼材は、その用途の多さもあり、従来の製品 LCA で評価することは困難である。素材のための LCA において、考慮すべき点や、製品 LCA との違いを解説する。
13:50～14:35	建築における環境影響評価 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻 准教授 清家 剛 建築を構成する材料として、鉄は重量比率の大きな重要な材料であり、しかもリサイクル可能な材料である。しかし建築物の評価においては、リサイクルされた材料は評価されるが、リサイクルできる材料は評価されていない。こうした現状を踏まえ、建築分野の建築部材の環境宣言 ISO である「ISO 21930」を検討するときの議論や、建築の代表的な環境影響評価ツール CASBEE での鉄という材料の考え方について紹介する。
14:35～15:20	「鉄の輪がつなぐ人と地球」－地球環境問題と鉄鋼業界の現状と今後の対応－ 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 久山 誠二 温暖化防止や循環型社会の実現など、地球環境問題への対応は、産業界にとってますます重要性を増している。鋼材の製造プロセスと環境特性を解説するとともに、現在、日本鉄鋼連盟が中心となって取り組んでいる worldsteel（世界鉄鋼協会）の LCA 方法論の国際規格化について、直近の動向も含めて紹介する。また、地球温暖化対策への鉄鋼業界の取り組みとして推進している低炭素社会実行計画について紹介する。
15:20～15:35	休憩
15:35～16:20	リサイクル特性を反映した鉄鋼材料の LCA 評価 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 副委員長 平川 智久 鋼材はリサイクル性が高いと言われるが、天然資源から材料が作られ、それが永続的に再生され続けている状態を一貫的に評価する手法の普及はこれからである。鋼材の永続的なリサイクル性は、最初の「石を鉄に変えた」という事実（ルーツ）の上に成り立っており、これを切り離して考えることはできない。今回、鉄連が推奨する評価手法を上記の視点で解説するとともに、これに関連する最近の当研究会の活動について紹介する。
16:20～17:10	－特別講演－ 宇宙開発利用の動向および宇宙航空研究開発機構の取り組みについて 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 新事業促進部 特任担当役 阿久津 亮夫 宇宙開発利用分野は、急速な市場拡大が見込める分野である。今までの国主体の活動から、近年、ロケットや小型人工衛星の開発、宇宙利用などへのベンチャー企業・異業種企業の参入も活発になってきている。国として、事業環境・枠組みが整備されるとともに、宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、我が国の宇宙産業競争力強化を目的とした活動を行っている。今回、国内外の宇宙開発利用分野の動向および JAXA の産業支援の取り組みについて紹介する。
17:10～17:15	閉会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 久山 誠二